

大分県外国人総合相談センター おおいた国際交流プラザ

No. 10
Autumn
2021

外国人相談につながる「やさしい日本語」研修会

令和3年8月5日、外国人相談につながる「やさしい日本語」研修会を自治体職員等(国際交流・技能実習生・防災・在留外国人とのコミュニケーションを必要とする職員)を対象に開催しました。

「やさしい日本語」は、公文書等の漢字や専門用語が多い文章をわかりやすい表現に換えて、在留外国人や障がいのある人、高齢者等と円滑なコミュニケーションを図ることを目的としています。

講師に立命館アジア太平洋大学言語教育センターの布尾勝一郎准教授をお迎えし、行政職員や関係者等28名が参加しました。

はじめに、おおいた国際交流プラザの二日市所長より挨拶があり、外国人相談など行政の窓口等で外国人とのコミュニケーションをとるためのわかりやすい日本語が必要であること、「やさしい日本語」は外国人だけではなく障がいのある人や高齢者等にとっても効果的なツールであること、災害時のみならず仕事や職場で様々な状況にある住民の皆さんとのコミュニケーションや情報提供手段として大切であることなど研修の趣旨を説明しました。

講義では、まず日常で目にする様々な掲示板・看板・アナウンスを例に、日本語、英語、中国語、韓国語の表示はよくみられるが他の言語の表示がない、在留外国人が日本で心地よく生活するためには多言語での対応が望ましいがコストや時間、労力などの制約があるとの解説がありました。

さらに出入国在留管理庁と文化庁の「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」では、「日常生活に困らない言語」を「日本語」とした外国人が約63%、「希望する情報発信言語」は「やさしい日本語」を選んだ外国人が76%で最多であることを説明しました。

次に、書き換えの際の留意点を学び、グループワークを通して実際にわかりにくい文章を「やさしい日本語」に書き換える演習を行いました。各グループに1人ずつ外国人参加者が入り、当事者として感じる様々な意見を言ってもらいました。普段使っている文章を「やさしい日本語」に書き換えることの難しさを体験することで、受講者からは、「実際にグループワークをしてみて理解が深まった」「他の参加者の意見がとても参考になった」「外国人向けだけではなく、日本人にも分かりやすい表現を使うよう心がけたい」という感想が寄せられ研修会を終えました。

大分県外国人総合相談センター・おおいた国際交流プラザでは、在留外国人を支援するため「やさしい日本語」を県内で広げる取り組みを行っています。地域別・職域別の研修実施に応じますので、お気軽にご相談ください。



information

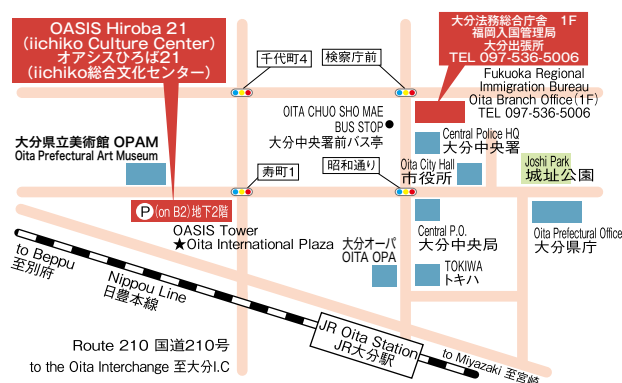
〒870-0029 大分市高砂町2-33 iichiko総合文化センター 地下1階
TEL 097-529-7119 (相談センター)
TEL 097-533-4021 (国際交流プラザ)
FAX 097-533-4052 (相談センター・国際交流プラザ)
URL: <http://www.oitaplaza.jp/> (相談センター・国際交流プラザ)
E-mail: oisc@emo.or.jp (相談センター)
E-mail: in@emo.or.jp (国際交流プラザ)

時間 月～土 (相談センター・国際交流プラザ)

10:00～17:00 (相談センター)

9:30～18:00 (国際交流プラザ)

※日曜、祝日、iichiko総合文化センター休館日および年末年始はお休みです



外国人向け医療機関の情報

大分県外国人総合相談センターには医療機関に関する相談があります。

例えば、

Q1

外国人です。
子どもを病院に連れて
いきたいけれど
日本語は分かりません。



Q2

英語対応可能な
専門医を紹介して欲しい。



日本語を母語としない方が医療機関を見つけて、希望する言語で受診するための方法を紹介します。

以下の手順に沿って、希望する医療機関を見つけてください。

1 「おおいた医療情報ほっとネット」 <https://iryo-joho.pref.oita.jp/> から言語<英語・韓国語・中国語（簡体字・繁体字）>を選択する

2 トップページ各ボタンをクリックし地域や医療機関種別（病院・診療所）など条件を絞って検索する

3 希望する言語に対応できる医療機関が見つからない場合は、受診予定の病院・診療所に「おんせん県おおいた多言語コールセンター」を利用したいと伝える
※「おんせん県おおいた多言語コールセンター」は電話による無料通訳サービスです



専門家相談 中国語相談 タガログ語相談

※相談員の都合でお休みになることがあります。 ※詳細はHPでご確認ください。

▶ 専門家相談

■日時 毎週土曜日 13:00～16:00 ■場所 おおいた国際交流プラザ iichiko総合文化センター 地下1階
■相談員 外国人Life Support所属行政書士ほか ■費用 無料 ■申込 不要

事前の予約は必要ありませんが、専門家により専門分野が異なることや通訳が必要な場合がありますので相談内容を予めセンターにお知らせください。

▶ 中国語相談

■日時 毎週木曜日 10:00～13:00 ■場所 おおいた国際交流プラザ iichiko総合文化センター 地下1階
■相談員 おおいた国際交流プラザ 中国語相談員 ■費用 無料 ■申込 不要

▶ タガログ語相談

■日時 毎月第1土曜日、第3火曜日 13:00～16:00 ■場所 おおいた国際交流プラザ iichiko総合文化センター 地下1階
■相談員 大分県フィリピン友好協会所属相談員 ■費用 無料 ■申込 不要

相談事例

① 専門家相談

Q 日本人です。
配偶者(外国籍)のビザ更新手続きを専門家に依頼したい。どの専門家に頼めばいいか教えて欲しい。

A 申請取次業務を行っている行政書士にお願いできます。ご自身で探すことが難しい場合は、大分県行政書士会にお問い合わせください。

電話 : 097-537-7089

② センター相談

Q 外国人(学生)です。
就職が決まり、就労ビザへの変更手続きをしたいが、パスポートの汚れがずっと気になっている。問題はないか？

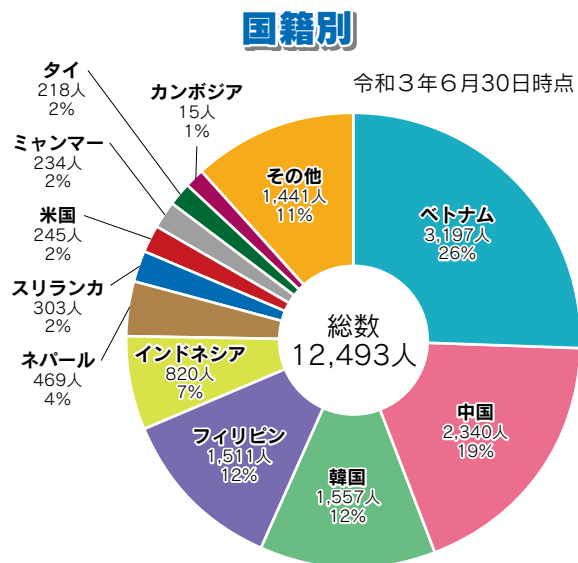
A 汚れの程度にもよりますが、変更に必要な書類を提出する際に入国管理局が判断します。ご自身が汚れがひどいと感じる場合は、自国の大使館にお問い合わせください。

大分県在留外国人数

大分県の推定人口は令和3年8月1日現在、1,116,247人。そのうち、県内在留外国人は12,493人(令和3年6月30日時点)となります。市町村別でみると、大分市(3,359人)が最も多く、別府市(3,241人)、中津市(1,443人)、宇佐市(755人)、豊後高田市(628人)、佐伯市(546人)と続きます。

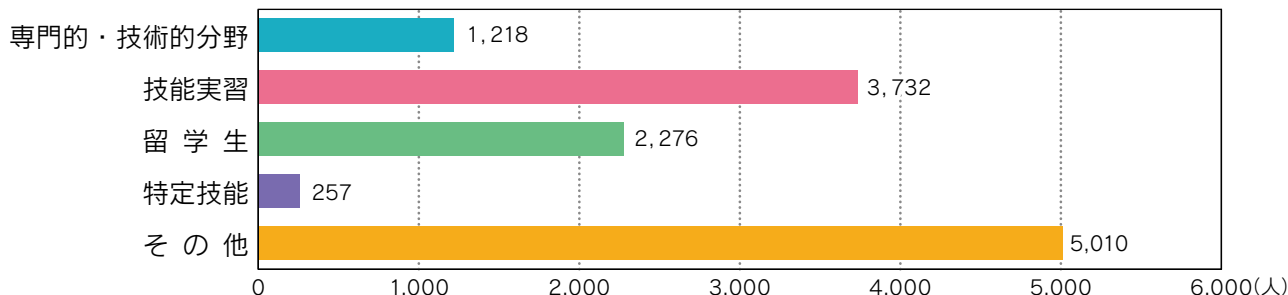
平成25年以降徐々に増加していた在留外国人数ですが、新型コロナウイルス感染症の影響で令和3年6月末では前年末と比べると568人の減少となりました。厳しい入国制限が続き、未だ入国できていない留学生や技能実習生が今回の数字に反映されていると推測されます。

詳細は大分県ホームページの県内在留外国人数について(<https://www.pref.oita.jp/soshiki/10140/kennaizairyuugaikokujinnsuu.html>)をご覧ください。



在留資格別

令和3年6月30日時点



作为日本人让孩子学中文的意义

我是土生土长的大分人。结婚成家后，家里也是一个说日语的普通家庭。

在日常生活中，一提到有关孩子的课外学习的话题时，周围人就会很吃惊是我让孩子学了中文。他们都疑惑“为什么不是英文，却是学中文？”。

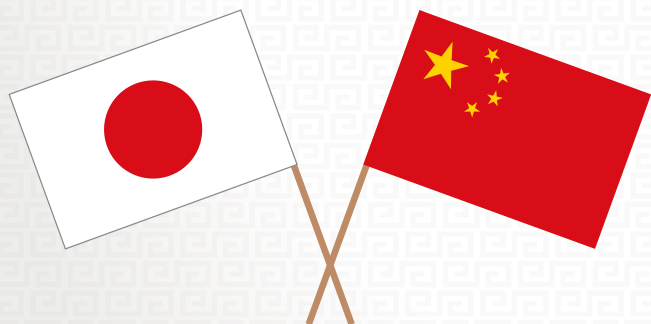
当我回答“因为我喜欢中国呀”之后，大多数人也就不会再追问。其实我期待着能被多问一点关于中国的事情。

我是在高中毕业后在长崎读书时接触了中文，并实现了我期待已久的

中国留学。在中国我认识了很多，这在日本是无法体验的经历。我发现中国明明是一个很魅力的国家，但是大部分的日本人却没能了解。

不仅如此，还有很多人对中国抱有着不好的印象。原因之一可能是日本媒体的报道吧！在日本总是夸张地报道一些中国的负面新闻。仅凭这些报道就在很多人心中根植下“中国不好”的印象，让我感到非常遗憾。

我想如果自己的孩子通过学习中文了解中国的优点，她也会向身边其他孩子传播，孩子们也会向家里的大人传播。希望这样也能改变日本人对中国的印象。这就是我让孩子学习中文的理由，意义正在于此。



佐藤 阳子

大分县人，曾在长崎短期大学学习中文。之后去往福建省厦门市留学，留学期间和毕业之后，周游中国各地，了解到了中国的魅力。现在是两个孩子的母亲。

汉语咨询

欢迎您来大分国际交流广场

您想了解如何来排解来在日生活中发生的各种困扰吗？您想咨询大分县人士土风情文化和独特的美食吗？那就来大分国际交流广场吧！

这里有可以用母语的工作人员等候您的来访。愿为您的生活排忧解难，愿为您提供多文化共生环境的国际交流，愿为您的生活增添一份愉悦和欣喜。

时间：每周四10:00--13:00

场所：大分国际交流广场

IICHIKO综合文化中心 地下一层

费用：免费

TEL:097-533-4021

网上咨询 :oisc@emo.or.jp

自由参加





Driving along the National Route 213

The National Route 213 runs along the coastline of Bungotakada. Along the way, there is an approximately 20km stretch – dubbed Koi Kana Road, or Love-Come-True Road when translated into English – that links Showa no Machi and Nagasakibana. Named after the route number 213, February 13 was officially recognised as ‘Bungotakada City Koi Kana Road Day’ by the Japan Anniversary Association. The date is quite apt, since February 13 happens to fall on Valentine’s eve. Along a section of Koi Kana Road sits Awashima Shrine, where a deity who is said to bring romance is housed. Just before the shrine’s main hall, a heart-shaped rock can be found among the ocean waves. Apparently, if you purchase two wishing stones for 100 yen and successfully throw them into the dent marking the centre of the rock, you will have a wish granted – making a slightly gutsy wish before you aim for the target might be quite a fun thing to do.



Aside from Awashima Shrine, the coastline along the National Route 213 is littered with many other hotspots for those who are hungry for romance, with Matama Beach being one of them. Since there are few locations in Oita Prefecture where the sun can be seen dipping below the ocean waves, Matama Beach is famous for being the only beach in the prefecture where you can enjoy watching the sun set on the horizon. At sundown, the sunlight and the striped patterns of the tidal flats weave a dramatic tapestry of light and shadow. In fact, the sight is so breathtaking it is considered one of the most gorgeous among the 100 Best Sunsets of Japan. The transient nature of twilight paints many pictures in my memory, and I am sure that I will one day come to remember Matama Beach’s sunset with fondness.



Oita will soon enter autumn, a season when the sky stretches into a refreshing, boundless blue. Seeing how beautiful the calm expressions of Oita’s oceans are, I thought this would be a good opportunity to share them with you.

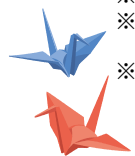
Xin Lan Xie

Festivals and Events

県内イベント案内 ※掲載のイベントは、予告なく中止・変更になる場合があります。

生誕110年記念 糸園和三郎展 ～魂の祈り、沈黙のメッセージ～

開催期間／9月18日(土)～10月31日(日)
会場／大分県立美術館 3階 コレクション展示室
観覧料／一般800(600)円
大学・高校生500(300)円
※中学生以下は無料
※()内は有料入場20名以上の団体料金
※障がい者手帳等をご提示の方とその付添者(1名)は無料



2021コレクション展Ⅲ 豊の国・温故知新

開催期間／11月9日(火)～12月20日(月)
※休展日 12月1日(水)
前期:11月9日(火)～11月30日(火)
後期:12月2日(木)～12月20日(月)
会場／大分県立美術館 3階 コレクション展示室
観覧料／一般300(250)円 大学・高校生200(150)円
※中学生以下は無料
※()内は有料入場20名以上の団体料金
※高校生は土曜日に観覧する場合は無料
※障がい者手帳等をご提示の方とその付添者(1名)は無料
※開催中の企画展半券提示で1枚につき1回無料

GENKYO 横尾忠則 「原郷から幻境へ、そして現況は？」

開催期間／12月4日(土)～2022年1月23日(日)
会場／大分県立美術館 1階 展示室A
観覧料／一般1,200(1,000)円
大学・高校生1,000(800)円
※中学生以下は無料
※()内は前売りおよび有料入場20名以上の団体料金
※障がい者手帳等をご提示の方とその付添者(1名)は無料
※「横尾忠則展」会期中に限り、本展の半券提示でコレクション展を無料でご覧いただけます。

諏訪内晶子 J.S. バッハ 無伴奏ヴァイオリンリサイタル

日時／10月20日(水)
開演／19:00
会場／iichikoグランシアタ
料金／(全席指定)S席:5,000円
A席:4,000円 B席:3,000円
U25割(A・B席のみ):半額
曲目／J.S. バッハ 無伴奏ヴァイオリンのためのソナタとパルティータより
ソナタ 第1番 ト短調 BWV1001
パルティータ 第2番 二短調 BWV1004(シャコンヌ付き)ほか

語りと音楽でつづる 「天正遣欧少年使節の物語」

日時／11月28日(日)
開演／15:00
会場／iichiko音の泉ホール
料金／(全席指定)一般:4,000円
U25割:2,000円
音楽監督／濱田芳通
語り／野中民美代
歌と芝居／彌勒忠史、上杉清仁、中嶋克彦、坂下忠弘
演奏／古楽アンサンブル《アントネッロ》
(Cemb 上羽剛史、Gamb 武澤秀平、Per 田島隆)

東京バレエ団 『くるみ割り人形』

日時／12月19日(日)
開演／16:00
会場／iichikoグランシアタ
料金／(全席指定)
GS席:10,000円
S席:8,000円 A席:6,000円
B席:4,000円 C席:2,000円
U25割(A～C席のみ):半額
演出・振付／斎藤友佳理(東京バレエ団芸術監督)
指揮／磯部省吾
演奏／シアターオーケストラオーケストラ



大分県芸術文化友の会
OITA PREF ARTS & CULTURE MEMBERSHIP
メンバー募集!



iichiko
総合文化センター



OpAm
大分県立美術館



JICAデスク 大分からこんにちは！

突然ですが、日本が戦後最初に加盟した国連機関はどこでしょう？正解は、ユネスコです！日本は1951年7月2日に国連教育科学文化機関（UNESCO）に加盟しました。今年は加盟70周年にあたります。

8月5日（木）、大分県ユネスコ協会連盟主催「第48回大分県高等学校ユネスコクラブ等交流研修会」が大分市のコンパルホールにて開かれ、ユネスコクラブやJRCに所属、あるいは国際交流等に関心があり参加した高校1～3年生21名を対象に、井本が講演をさせていただきました。この会は、高校生がユネスコ精神や国際交流の意義について学ぶことなどを目的に開催されています。

当日は「国際交流・国際理解と生き方について～セントルシアから見たもの～」と題し、青年海外協力隊として派遣されたセントルシアでの生活や活動、経験を通して痛感したこと、セントルシア文化と日本文化の比較などについてお話をしました。

事後の感想シートから、特にセントルシア人と日本人の価値観、世界観、物事の見方や認識・発想の違いについての比較が興味深かったようです。一部をご紹介します。

「環境が違ったら思考回路も違って当たり前、という言葉が印象に残ってます。（略）知らない人と関わった時の違和感や不信感からくる知らないものへの恐怖が世界規模になったものが戦

争や差別だとしたら、訪れて交流したり、話しかけて相手を知ろうとする対話の姿勢を持つことがユネスコの目標の平和の創造につながってるんだと気がきました。」

「多様な価値観・発想の仕方があり、人と違う考え方が当たり前というような考え方に、良いなと興味・関心を持ちました。国際交流により一層興味がわきました。」

この度の講演に際し、改めてユネスコ憲章前文を読みました。相互の風習や生活を理解しようとするのがいかに大切なことであるかについて、実に簡潔な文章で記されています。ぜひ読んでみてください。今回このような機会を通して、高校生からの感想や視点は私にとっても新たな学びと刺激になりました。ありがとうございました！

※参加校：臼杵高、大分雄城台高、大分東高、別府鶴見丘高、由布高



JICAデスク 大分

iichiko総合文化センター（B1F） おおい国際交流プラザ内
担当：JICA九州・大分県国際協力推進員 井本
TEL: 097-533-4021（おおい国際交流プラザ直通）
E-Mail: jicadpd-desk-oitaken@jica.go.jp

プ ラ ザ よ り



シンラン シエさん、お疲れさまでした！ありがとうございました！

おおいた国際交流プラザと関わりの深い国際交流員（CIR）のシンラン シエさん＝オーストラリア出身＝が9月、任期満了に伴い退任しました。

国の外国青年招致事業「JETプログラム（The Japan Exchange and Teaching Programme）」で来日し、県の活動に加え、プラザで開催される「Free Talk Class 英語」を担当していただき、毎回多彩なテーマを通して県民の皆さんに異文化に触れる楽しさを提供していただきました。加えて、現在の広報誌の前身である英語情報誌《THE TOMBO（ザ・トンボ）》以来、本広報誌に移行してから県内の様々な場所を訪れ、素晴らしい写真と共に大分の魅力を伝える記事（英語）を書いていただきました。

私たち以上に丁寧な日本語を操り、料理上手、思いやりがあり、責任感も強いシエさん。実は日本のアニメにも大変詳しく、その豊富な知識には驚かされるばかりでした。

オーストラリアに戻っても大分で過ごした日々を時々思い出してください。

シンラン シエさんの今後のご活躍をプラザー同お祈り申し上げます。



撮影：シンラン シエ



撮影：シンラン シエ

退任あいさつ



光陰矢の如し、気づけば大分県での生活も終わります。任用期間の満了により、9月12日をもって退任致します。

翻訳・通訳業務を始め、語学教室や国際理解講座等を通して様々な人に出会い、幅広く国際交流に取り組みました。また、本広報誌の作成をきっかけに県内各地を巡り、大分県の文化と歴史を知るようになり、今までにないほど楽しく仕事を成し遂げました。

豊かな自然と文化も素敵ですが、大分県の一番良いところは、やはり人だと思います。特に「ラグビーワールドカップ2019年日本大会」の期間に世界中の観戦客を温かく歓迎した大分県民の姿を、何よりも鮮やかに思い出します。職場と日常生活においても、この私を支えてくれた多くの皆さんのおかげで、実りある3年間を過ごせました。現在、新型コロナウイルス感染拡大状況下で移動が制限される生活が続いていますが、直接会えないからこそ、人と人を結ぶ見えない絆を深めていきたい気持ちが強くなります。「おんせん県おおいた」を離れても、今まで感じた温もりを宝物にし、皆さんのご健勝とご活躍をお祈りします。

おおいた国際交流プラザからのお知らせ

●Free Talk Class

Free Talk Classは大分県所属の国際交流員（CIR）が講師となり、文化や生活習慣の違いを言語を通して楽しみながら学ぶ講座です。興味のある方！お待ちしております。

日 時 金曜日 13:30～15:00

定 員 10名

場 所 iichiko総合文化センター 地下1階 おおいた国際交流プラザ

参加費 無料

●チャレンジ☆韓国語

韓国語を使いたいけれど機会がない…と感じている方。

覚えた単語や文章を韓国語ネイティブとの会話の中で使ってみませんか。

皆さんのご参加をお待ちしています。

日時 第3土曜日 10:30～12:00 ※変更の可能性あり

定員 10名

場所 iichiko総合文化センター 地下1階 おおいた国際交流プラザ

参加料 無料

●インドネシア語トライアル講座

「インドネシア語を通して、インドネシアに興味を持ってほしい」という思いから実現した本講座は、約30年インドネシアで生活した経験のある講師によって開催されます。インドネシアの魅力に触れる絶好のチャンスです。是非ご参加ください。

●通訳・翻訳ボランティア

おおいた国際交流プラザには、英語・中国語・韓国語・フランス語・ドイツ語・イタリア語・ロシア語・タガログ語・スペイン語・ポルトガル語・ベトナム語・インドネシア語・アラビア語・ヒンドゥー語・ウルドゥー語の通訳・翻訳ボランティアが登録しています。

語学力を活かして、在住外国人のサポートをしたいという方のご登録を随時募集しています！

●日本語ボランティア

日本語ボランティアは、日本語を母語としない方に日本語を教えるボランティアです。

登録希望者は、おおいた国際交流プラザのHPから登録用紙をダウンロードしご記入のうえ、FAX、E-mail、または直接提出してください。

●医療ハンドブック

大分県内に在住する外国人のための医療ハンドブックをおおいた国際交流プラザのホームページでご覧いただけます(5か国語)ハンドブックでは、日本の医療制度、病院のかかり方、妊娠・出産の時の対応、事故や感染症など、日本での生活で知っておきたい情報を紹介しています。

●日本語教室情報

▶あいうえおCLUB

①場 所 アイネス（大分市）

日 時 毎週火・金 10:20～11:50

連絡先 090-8353-2485 宮瀬

②場 所 コンパルホール（大分市）

日 時 毎週木 18:30～20:30

連絡先 097-532-5940 加藤

▶さくら日本語教室

場 所 大分大学国際交流会館（大分市）

日 時 毎週月 10:15～12:00

連絡先 097-528-1865 川野

▶ひまわり

①場 所 明治明野公民館（大分市）

日 時 毎週水 14:00～15:30

②場 所 鶴崎公民館（大分市）

日 時 毎週土 10:00～11:30

③場 所 コンパルホール（大分市） ※こども日本語教室

日 時 毎週土 14:00～15:40

連絡先 097-527-2614 深田

▶日本語らくらくトーク

場 所 別府市役所

日 時 毎週月 14:00～15:30

連絡先 0977-21-1131 大塚

▶BIP Japanese Conversation Class

場 所 APU PLAZA OITA (AP House 4) 1階

日 時 毎週火 10:10～11:00（初級）

11:10～12:00（中級）

毎週水 11:10～12:00（初級）

12:10～13:00（中級上：職場で使う日本語）

毎週木 12:00～12:50（入門）

連絡先 0977-23-1119 神（こう）

